

予対通報 第10号

●発行日:平成28年3月31日

●発行者:鳥根県保育協議会 予算対策委員会



「真の社会福祉事業と地域を守るために」

鳥根県保育協議会副会長 森山 幸朗
(雲南 あおぞら保育園園長)

子ども・子育て新制度の実施1年を経て、制度自体の課題に加え自治体間の格差が明らかになってきました。国からの通達などの詳細が遅れたこともあって、自治体の担当者には過重な負担となりました。保育現場の実態や要望を各自治体に伝え、自治体で改善可能なことも多くありますが、さらに自治体から国に意見を上げて、改善を働き掛ける取り組みも重要です。特に具体的な資料に基づき、保育現場の労働実態、保育内容と職員の働き方を明らかにしていくことが必要です。保育士に専門職としてふさわしい条件を保障するためには財源保障が必要であり、その基準である公定価格の改善の声を積極的に取り上げていくことが重要です。

「保育園落ちた日本死ね!!!」のブログが発端で、深刻な実態を真剣に考えない政治に、子育て世代のママたちの怒りが爆発しました。たちまち全国各地で保育所に入れない保護者たちが声を上げています。昨年4月時点で認可保育施設に申し込んで入れなかった「待機児童」は2万3,167人とされていましたが、実は「隠れ待機児童」が5万9,383人いることを、このほど厚労省が明らかにしました。国の待機児対策が単なる数値合わせでないことを願いますが、関係機関と連携した詳細な実態調査が望まれます。鳥根県内は、一部では待機児童の発生がありますが、多くの人口減少地域では待機児童は居ないものの、真に保育ニーズに応えられているか検証して、問題点を制度改善に繋げることが必要です。

今回政府は、受け皿を確保するためとして「子ども・子育て支援法」の一部改正案を提出し、「企業主導型保育事業」の創立を提案しています。国の資料によれ

ば、この事業は夜間など時間帯のずれた働き方や、短時間などの非正規雇用社員の利用に対応。複数企業での設置が可能だとして小売り、飲食業、工業団地、複合商業施設などへの設置を想定しています。ところが、他の保育事業のように児童福祉法への位置づけがされておらず、責任の所在や施設の基準さえ明らかではありません。何より自治体の関与を必要としないなど、こうした国の施策の動向にも注視していきたいものです。

さて、社会福祉法人改革を含む社会福祉法一部改正案が国会を通過しました。この法案の慎重審議を求める識者の意見が少なからずありましたが、保育3団体は会長名を連ねて早期成立を陳情しました。この法案成立で、保育所を経営する法人も大きな影響を受けます。特に、退職手当共済制度については、今回の法案で障害者分野の公費助成が打ち切りになれば、次は保育分野も同様になる可能性があります。今後も憲法25条に基づく権利保障としての社会福祉事業の拡充を求め、財源の確保や制度の改善の実現に向けて努めていきます。



社会福祉法人改革について

予算対策委員長 岩倉 善光
(大田市 みどり保育園園長)

27年度、一番の関心事は社会福祉法人改革についてであったと思います。平成28年3月23日(水)に法案が成立致しました。改革の内容は既に明らかになっておりましたので、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務、行政の関与の在り方について多くの方が研修会やセミナー等で既にご理解なされておられると思います。

この法案は社会福祉法人に対して将来的に課税対象とする為の改革ではなく、課税対象にしない為の制度改革であると言われております。社会福祉法人の格付けは日本の全ての法人の中で最上位にあり、その証が非課税になっている事です。これは社会福祉法人の働きが社会の中で非常に重要な役割を担ってきた歴史があり、今後もその働きを期待されているという事でもあります。社会福祉法人はその存在に対して世間から厳しく評価されていますので、確かに様々な意見を述べられています。しかし、社会福祉法人を無くすのではなく、我が国にとって憲法順守の立場から基本的人権を守る為に社会福祉法人の働きをさらに強固にしなければならないという事から、今回の社会福祉法人改革案であると思われま。

確かに、社会福祉の本来的な働きに立ち返り、それぞれの働きを見直していく事で現状の働きをさらに強固にし、人の為に、また社会の救済の為に求められる社会福祉法人として活動する事を拒否する事はありません。ですが、社会福祉法人の経営自主権を尊重すべきとしていながらこの度設けられた第2項では、社会福祉法人への社会貢献の特定事業の義務付けと自主的経営とは両立しないのではないかと危惧するところでもあります。保育所経営をしているほとんどが1法人1施設の小規模法人であり、本来の事業に対し支障が出るのではないかとこの事、そしてより人手不足に拍車がかかる可能性が考えられます。また、今回の改革の議論の背景にある、営利企業との対等な競争条件(イコールフットリング)要求がある事や、退職共済の公費助成の削減に関しても危惧しなければならないと思われま。

最後に、私達社会福祉法人は日々保育だけでなく、地域の貢献の為に尽力しております。今後も社会に向けて我々の活動を明確にしていき、社会福祉法人として地域に必要とされる法人でありたいと思います。

要望趣旨

わが国の少子高齢化の進行は、人口減少時代に入るとともに厳しい状況にあり、国や社会の存立基盤に大きな影響を与える重要な問題で、効果的な少子化対策は喫緊の課題です。

地域格差の広がりや貧困の連鎖、とりわけ子どもへの貧困率の上昇が問題になっているなか、福祉としての保育、権利としての保育がいっそう重要になっています。

今年4月、子ども・子育て支援新制度が施行されました。これは、「すべての子ども・子育て家庭を対象に、幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援の質・量の拡充を図る」とする法の趣旨を踏まえ、支援の取り組みをよりいっそうの推進がはかられることになりました。

保育現場での人材確保、処遇改善、それぞれの地域の特性を踏まえた保育施策のさらなる充実を図っていただきますようお願いいたします。

陳情・要望活動について

予算対策委員長 岩倉 善光
(大田市 みどり保育園園長)

平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしました。保育及び就学前教育の質の向上、認定こども園の普及、待機児童の解消を大きな目的としたこの新制度ですが、現実には行政も保育現場も困惑しながらの27年度となりました。その様な中で、島根県保育協議会 予算対策委員会では山口会長・森山副会長を中心に、他の保育団体と協働し、関係機関との連携・情報収集を行い、より良い保育現場の為に協議をいたしました。

今年度も7月22日に島根県保育三団体代表者会議(県保協・日保協・私保連)において陳情内容を取りまとめ、8月24日に県青少年家庭課との意見交換会を経て、9月24日保育振興議員連盟の総会へ出席、10月13日には島根県知事・県議会議長・県健康福祉部長への陳情・要望活動を行いました。我が国の厳しい少子高齢化の進行の中、地域格差の広がりや子どもの貧困の連鎖、福祉としての保育、権利としての保育がいっそう重要になっています。保育現場での人材確保、処遇改善、それぞれの地域の特性を踏まえた保育施策のさらなる充実の為に今年度も強く要望を致しました。

保育制度は保育に携わる皆様の声で良い方向に変わっていくものであります。特に保育団体を通せば大きな声となり、国の制度改革へ良い意味で影響を与えることが出来る様になります。今後も引き続き予対活動の充実を図るべく、会員の皆様のご意見ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



国に対する要望

- 1. 公定価格について**
保育の質の向上を図り、保育の地域格差を生じないためにも、新制度からの公定価格である国庫負担の一般財 源化、またその方向性について強く反対します。
- 2. 社会福祉施設職員退職共済の公費助成について**
保育所を運営する法人の多くは1法人1施設の小規模法人であり、その財務基盤は脆弱です。このため、保育士の雇用安定化、処遇改善の観点から、現行の社会福祉施設職員等退職手当共済制度について公費助成の維持・継続を強く要望します。
- 3. 評議員制度に係る小規模法人への配慮について**
この度の社会福祉法改正法案においては、今後全ての社会福祉法人に評議員会の設置を義務づけることとされていますが、中山間地域・離島を多く持つ本県においては、地域における人材確保が非常に困難な状況にあります。
このため、特に小規模な法人について、将来にわたって安定的な経営が維持できるよう適正な配慮がなされますよう強く要望します。

県に対する要望

- 1. 小規模保育所への安定的補助について**
中山間地域・離島を中心に未就学児童は減少傾向にあります。こうした地域にある多くの保育所はそもそも小規模な上に、児童数の減少とも相まってその運営はさらに厳しいものとなっています。こうした保育所が、安定的に事業が展開でき、地域の子育て拠点としての機能を果たせるようより一層の補助を要望します。
- 2. 県西部地域における保育の人材確保について**
本県東部地域においては、県立大学短期大学部保育学 科や保育士養成校が設立され、また今後もその充足が図られようとしていますが、県西部地域においては、これら養成校が1校もない状況にあります。
社会減による人口減少がとりわけ顕著な県西部地域において、保育の人材確保とともに若者の県内定着を図る観点からも、同地域における保育士養成校の設立を進めていただきますよう要望します。